

シークレット ワルツ (1996)

メディア 映画

ジャンル サスペンス 犯罪 ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 105分

初公開日 1996/11/23

公開情報 ピタース・エンド

【解説】

「男たちの挽歌」のツイ・ハークと自主製作映画「ダイヤモンドの月」で高い評価を得た野火明の二人による原案を映画化した、野火にとって初の劇場用長編作品。「国会へ行こう！」の斉藤ひろしが野火と共同で脚本を執筆した。

血のつながらない姉弟のマキと慎二は、泥酔しているサラリーマンから財布を盗んだりして生計を立てていた。殺し屋の火野を助けたことから三人での生活が始まるが、火野の雇い主であるヤクザの佐藤は、慎二を殺し屋にしようとする。姉に想いを寄せる慎二だったが、マキと火野が関係を結んだことを知り覚醒剤に溺れたところを佐藤に救われ、殺し屋になることを決意。だがボスの死により実権を握った佐藤が覚醒剤に手を出してしまい…。

【クレジット】

監督	野火明
製作	武政克彦
企画	尾越浩文
プロデューサー	加畑圭造 志田篤彦
原案	ツイ・ハーク Tsui Hark 野火明
脚本	野火明 斉藤ひろし
撮影	上野彰吾
美術	斉藤岩男
編集	金子尚樹 矢船陽介
助監督	佐伯英二
出演	石堂夏央 伊崎充則 堤真一 高田純次 麻生真宮子 松田洋治 佐藤允